

忘れてはならない記憶

～ 阪神・淡路大震災から25年 ～

学校長 平 田 高 之

年末から多くのマスコミで取り上げられていますが、阪神・淡路大震災から1月17日で25年となります。当時のことは、皆さんの記憶にはどのように残っておられますか。

本校では、1月16日の「震災を考える給食」の際に、各学級の給食委員がおむすびを作り、給食委員長がメニューの意味や当時の様子について放送で全校生に呼びかけます。また、1月17日には、シェークアウト訓練と黙祷、1月22日には、明石市総合安全対策室から講師を招き、防災講演会を実施します。本校は明石市でも東部に位置しているために避難所が設置される等、被害を受けた方が多い校区でした。私たちには、犠牲になられた方々やそのご遺族の思いを鑑み、この震災を伝えていく責務があると思っています。

この震災を機に兵庫県では、防災教育副読本「明日に生きる」を発行（平成9年1月）する等して防災教育を推進してきました。平成10年から「トライやる・ウィーク」を実施。震災・学校支援チーム（EARTH）の設置（平成12年4月1日）。さらに、県立舞子高等学校に、全国でも初めて防災をテーマにした環境防災科を設置（平成14年4月）する等、様々な取組が行われてきました。しかし、年数が過ぎるにつれ、震災経験者が減っていく中で、ここ数年ルミナリエが資金不足で実施が危ぶまれる等、震災が風化していくのではないかということが危惧されています。学級等でも震災に係る話をしていきますので、この機会に、保護者の皆様の経験等をお子様と語り合ってください、語り継いで頂ければと願っています。

<本校の状況>（「大蔵中学校 創立50周年記念誌」より）

○1月17日：緊急避難所開設（武道館・技術室）避難者約400名

○1月21日まで臨時休校

○2月 1日：学校施設応急危険度調査

○2月18日：教職員による炊き出し

○4月16日：避難所閉鎖



モニュメント「明日」（明石市大蔵海岸町1）

